

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

今年は空梅雨ということもあり、例年になく雨が少ない日が続いております。

会員の皆様には日頃より本会に多大なるご支援、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。多くの来賓の皆様にご臨席いただき、県内各支部から大勢の先生方が参加し、盛会に終了することができました。

——定期総会から——

平成28年度活動報告、決算・会計監査報告、平成29年度活動方針案及び予算案の件、役員選出などの報告・議事が進められました。会長、副会長は下記のもと、本年度の活動がスタートしました。(敬省略)

会長	飯塚 清 (千葉市立千城小学校)		
副会長	相京 貢 (印旛・富里中)	浅岡 正人 (東葛・西部小)	小出 泰幸 (千葉・若松台小)
	戸井 康子 (印旛・吾妻中)	朝倉 真由美 (東総・船木小)	迎 寿美 (千葉・葛城中)

今年度の感謝状贈呈者は下記の方々です。

(順不同・敬称略)

千葉	江尻 和代	船橋	齋藤 周平	船橋	山口 美恵子	船橋	小谷野 達哉
東葛	宮坂 敬章	安房	畠山 清巳	千葉	橋爪 みち代	香取	弓削 美恵子
香取	松川 朝嗣	夷隅	藤平 ひろみ				

全国大会や全国作品展に入賞する作品の指導をされた指導者に対し、「優秀指導者表彰」が贈られました。受賞された方は、下記の方々です。(敬称略 所属は現または最終在籍校になります)

佐々 聡子 (千葉・蘇我中)	横山 由佳子 (千葉・打瀬中)	清水 彩音 (市川・妙典中)
磯部 玲子 (八千代・勝田台中)	高島 亮策 (成田・久住中)	川口 芳子 (旭・共和小学校)

——公開授業から——

公開授業は、市原支部研究主題「よりよい生活や社会の実現に向けて、自ら課題を見つけ、解決する力を育む学習指導の在り方」のもと、授業が展開されました。

技術分野、家庭分野それぞれの研究発表後、千葉県教育庁南房総教育事務所指導主事の宮内 雅史先生、千葉県総合教育センターカリキュラム開発部研究指導主事 佐藤 理恵子先生よりご指導、ご講評を頂きました。

技術分野<授業者 菊池 亮助 先生(市原市立国分寺台中学校)>

技術分野では、A材料と加工に関する技術において、「かな」を使ってこぐち面を適切に削る授業が展開されました。タブレットを用いて教室をネットワーク化し、各班で試した様子を動画や静止画などにまとめ、クラスで共有する試みがされました。ICTを使い学習意欲を高め、わかる、できる授業につなげるとともに、思考を深め、自分の考えを伝える興味深い内容でした。

家庭分野<授業者 小甲 はな恵 先生(市原市立国分寺台中学校)>

家庭分野では、和食がユネスコ世界遺産として登録されたことを受け、日本食の良さを再確認する授業が展開されました。日本の食文化について9つの班がテーマを決め、世界が注目するような和食の魅力を調べ、発表する展開で、お茶に関する発表の後では、小甲先生のお茶の入れ方と作法の実演も行われました。家庭での食生活を見つめ直す課題が設定され、その後の調理計画・実習につながっていく授業が展開されました。



技術分野 (材料と加工に関する技術)



家庭分野 (地域の食材と食文化)



——記念講習会 「災害に備えよう、身近な物の活用法」

—NPO法人「ゆかいな仲間たち」理事長 白尾 克伸 氏 —

例年ですと記念講演会が催されますが、今年度はNPO法人「ゆかいな仲間たち」の方々をお招きして、新聞紙やレジ袋などの身近な物を使っての災害時の避難所での役立つものの紹介が行われました。災害が起こった時に、小・中学校は避難所になる可能性があることから、もしもの時に役立つ内容で、参加された先生方も一生懸命に講習に参加されていました。



——作品展から——

今年の作品展も、県内より優秀な作品を集め、開催することができました。どの作品も創意工夫を凝らし、素晴らしい作品でしたが、その中で次の作品が平成30年1月20日（土）、21日（日）に行われる第18回全国中学生創造ものづくり教育フェア作品展や関ブロ埼玉大会に出展することになりました。（敬称略）

教育長賞 「技術分野」 「本立て」（Ⅰ部門） 一宮町立一宮中学校 酒井 万柚
「家庭分野」 「介護用の服と椅子」（Ⅱ部門） 千葉市立小中台中学校 木戸村 珠記

振興会長賞

技術	船橋市立坪井中学校 横山 純菜	家庭	佐倉市立臼井南中学校 吉田 華緒（Ⅰ部門）
	千葉市立泉谷中学校 山田 隼		君津市立君津中学校 原 彩夏（Ⅰ部門）
	一宮町立一宮中学校 平山 帆夏		四街道市立四街道中学校 井上 美彩（Ⅰ部門）
	（技術は一宮中 平山さんがⅡ部門 その他Ⅰ部門）		千葉市立轟町中学校 野出 壘斗（Ⅱ部門）
			千葉市立小中台中学校 田邊 悠人（Ⅱ部門）

以上10作品が全国中学生創造ものづくり教育フェア 生徒作品展出品

技術	船橋市立芝山中学校 星野 大空	家庭	千葉市立高浜中学校 室井 うべあ
	袖ヶ浦市立平川中学校 上原 碧海		千葉市立打瀬中学校 鈴木 菜奈
	南房総市立三芳中学校 武田 若菜		長生村立長生中学校 齋藤 紫

以上6作品が関ブロ新潟大会 生徒作品展出品



——お知らせ——

- ☆ 関ブロ新潟大会が平成29年11月14日（火）・15日（水）に行われます。ご案内など詳細は後日各支部理事より送付されます。より多くの先生方のご参加をお願いいたします。
- ☆ 第14回千葉県中学生創造ものづくり教育フェアが11月11日（土）に千葉県総合教育センターで開催されます。本年度も多くの学校の参加をよろしくお願いいたします。
- ☆ 千葉県小学校家庭科研究大会は、次回関ブロとして平成30年11月7日（水）成田市立公津の杜小学校を会場として開催されます。平成29年10月30日（月）に千葉大会のプレ公開が公津の杜小学校で行われます。

——編集後記——

今年も多く先生方のご協力により、部会だより第1号を発行することができました。今後も年3回の部会だよりを発行し、各地の作品展や研究大会などのお知らせをしたいと思います。本年度も、よろしくお願いいたします。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科部会 広報部 千葉市立白井中学校 北島 啓行》

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

今年も、早いもので残すところあとわずかになりました。会員の皆様には、日頃より本会に多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。

——第14回千葉県中学校創造ものづくり教育フェアから——

11月11日（土）に県総合教育センターにて千葉県中学生創造ものづくり教育フェアが開催されました。当日は、千葉県教育委員会教育長 内藤 敏也 様、千葉市教育委員会教育長 磯野 和美 様をはじめ、多数のご来賓をお迎えし、盛大に競技が行われました。会場には早朝より多数の生徒・保護者が来場し賑わいました。なお、詳細についてはGI☆KA CHIBA Web ページもご覧ください。

＜それぞれの部門の結果＞ (敬称略)

「ものづくり」部門 — 木工の技

- 1位 成田市立久住中学校 原田 澄大 (県知事賞・全国大会出場権獲得)
 2位 成田市立久住中学校 原田 大海 (県会長賞)
 3位 八千代市立八千代中学校 金子善克 (県会長賞)



「ものづくり」部門—アイデアバッグ ☆上位2名が関東大会に出場

- 1位 千葉市立轟町中学校 伏信明香 (県知事賞)
 2位 御宿町立御宿中学校 君塚愛海 (県会長賞)
 3位 御宿町立御宿中学校 吉野友菜 (県会長賞)



「ものづくり」部門—お弁当コンクール ☆第1位が全国推薦へ

- 1位 千葉市立葛城中学校 (宮川鶴怜・積田由美子・白石真悠) (県知事賞)
 2位 大多喜町立西中学校 (渡辺剛史・君塚涼) (県会長賞)
 3位 千葉市立轟町中学校 (早瀬ことみ・芝田七海・前田絢香) (県会長賞)
 [学校給食会理事長賞] 千葉市立打瀬中学校 (大原春香・久芳碧乃)
 [東京ガス エコ・クッキング賞] 大多喜町立西中学校 (佐川美月・関明日香)
 [キッコーマンおいしい記憶賞] 千葉市立蘇我中学校 (大塚明弥・鍋島春・植村心)
 [審査員特別賞] 大多喜町立 西中学校 (山口斗樹・市原尚侍)
 ☆学校賞 木更津市立太田中学校

「ロボットコンテスト」部門 ☆各部門1位、2位、特別賞の3チームが関東大会出場

- ロボコン大賞 習志野市立第一中学校 "疾風バージョン 4.0" (県知事賞・応用部門)
 基礎部門 1位 野田市立岩名中学校 "NTSR野田" (関東大会出場)
 2位 野田市立岩名中学校 "フクシマ" (関東大会出場)
 特別賞 野田市立岩名中学校 "野田しょう油ラーメンズ" (関東大会出場)
 活用部門 1位 流山市立東深井中学校 "花松伊一隼" (関東大会出場)
 2位 千葉市立小中台中学校 "雑草" (関東大会出場)
 特別賞 千葉大学教育学部附属中学校 "TOUCH UP" (関東大会出場)
 応用部門 1位 千葉市立おゆみ野南中学校 "Continues" (関東大会出場)
 2位 千葉市立おゆみ野南中学校 "Asterisk" (関東大会出場)
 特別賞 習志野市立第一中学校 "疾風バージョン 4.0" (関東大会出場)



＜木工の技＞



＜アイデアバッグ＞



＜お弁当コンクール＞



＜ロボットコンテスト＞

——第56回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会より——

11月14日（火）～15日（水）にかけて、関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 新潟大会が研究主題、「生活や生き方を見直し、自立して生きていく生徒を育成する技術・家庭科教育～思考力・判断力・表現力を協働で育む 技術・家庭科の学習過程の工夫～」のもと、8分科会に分かれて開催されました。また、宮坂 敬章 先生（前松戸市立古ヶ崎小学校長）が長年に渡った本部会役員としての功績を讃えられ、表彰をされました。



——第3分科会の様子——

生物育成に関する技術において、リーフレタスの栽培方法を考える授業展開がされました。当日の授業は、「振り返り 評価・改善」のグループの話し合いにおいて、リーダーがファシリテーターとなるワールド・カフェ方式の発表会がおこなわれました。また、発表会においては、ファシリテーターが自分たちのグループの栽培方法を説明し、栽培を行った結果を参会者に伝え、Keep（良かったこと）、Problem（問題点）、Try（次に試すこと）を順に議論するKPT法の実践が行われ、とても興味深いものでした。



——指導講評より——

全体会では、文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 上野耕史先生の指導講評がありました。新学習指導要領に関する、「学びの地図」としての枠組みづくりと各学校における創意工夫の活性化、これからのカリキュラム・マネジメントの方向性と具体例、技術・家庭科における主体的・対話的で深い学びの視点等についてのお話でした。



——千葉県の記事——

関ブロ新潟大会において、以下の千葉県の先生の実践発表がなされました。

第3分科会	香取市立香取中学校 藤田 伸平 教諭	自ら課題をもち、問題を解決する力を育む栽培学習の一考察 ～キュウリのベランダ栽培を通して～
第8分科会	船橋市立旭中学校 白土 幸子 教諭	『基礎基本の定着をはかり、実生活に活かすための指導法の研究』 ～「消費生活実践プロジェクト」を通して～

——関ブロ・新潟大会の作品展より——



——平成30年度小学校家庭科研究大会関東甲信越地区大会千葉大会に向けて——

平成30年11月7日（火）に開催する関東甲信越地区小学校家庭科教育研究大会のプレ授業が10月30日（月）に成田市立公津の杜小学校で実施されました。1年前にもかかわらず、110名を超える参加者があり、授業や活発な分科会が開かれました。アクティブ・ラーニングの視点（食を中心に）と持続可能な社会へ向けての教育（消費を中心に）の2つの柱で研究が進んでいます。

——編集後記——

第2号は、千葉県中学校創造ものづくりフェア、関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 新潟大会の内容を掲載しました。第3号では、各地の作品展や本年度の活動内容、来年度の研究計画などを掲載したいと考えております。新しい情報やご意見などありましたら、広報部までお知らせいただければ幸いです。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科部会 広報部 千葉市立白井中学校 北島 啓行》

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

今年度も、早いもので残すところあとわずかになりました。会員の皆様には、日頃より本会に多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。

——平成29年度の活動を振り返って——

千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会会長 飯塚 清

平成29年度も残りわずかとなりました。今年度も各事業や研究を無事進めることができました。これも本会を支えてくださった皆様の温かい御支援のお陰と深く感謝申し上げます。

さて、本年度も県総会で承認された活動の4本柱を元に、活動を進めてまいりました。特に平成29年3月に告示された新学習指導要領は中学校では、平成33年度に全面実施、31年度の一年生から移行していく必要があります。技術分野では4領域の順番の変更、家庭分野では4領域から3領域への領域再編や小中高の連携の強化などが求められ、改訂に向かったの準備が本格化しています。本会も総力を挙げ、移行に向かったの準備を進めてまいりました。

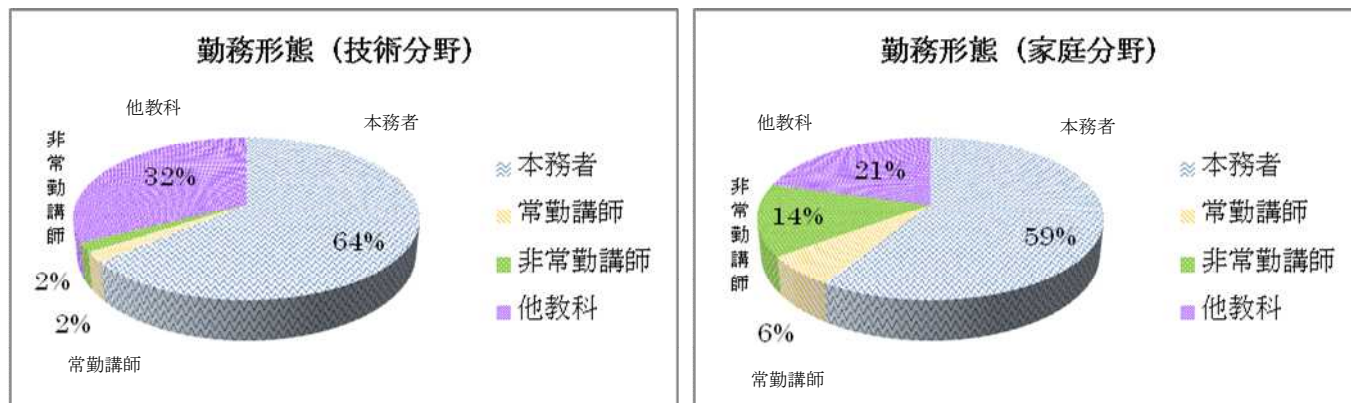
また、平成30年11月に成田市の公津の杜小学校を会場として開催される、関東甲信越地区小学校家庭科教育研究大会にむけて、研究を進めた1年でした。小学校は、新学習指導要領の完全実施が平成32年度から、そして5年生には31年度から新学習指導要領に基づいた学習内容が求められます。そのような中、本会は全国的にも数少ない小学校家庭科と中学校技術・家庭科との合同の研究会です。多くの支部が小中合同研修会を実施するなど小学校家庭科と中学校家庭分野の連携を進めてまいりました。この力を発揮して、移行期における実り多い提案ができるものと考えます。

今年も千葉県中学生創造ものづくり教育フェアの成績上位者は、関東大会、全国大会への出場権を獲得しました。全国大会には、木工の技部門、アイデアバッグ部門、お弁当部門に選手を送りました。お弁当部門では、全国1位、バッグ部門全国4位という素晴らしい成績を上げました。また、生徒作品展でも、技術分野、家庭分野併せて5作品が入賞するなどの活躍を見せてくれました。この成果も、指導いただいた皆様や、御支援くださった方々のお力によるものと感謝申し上げます。

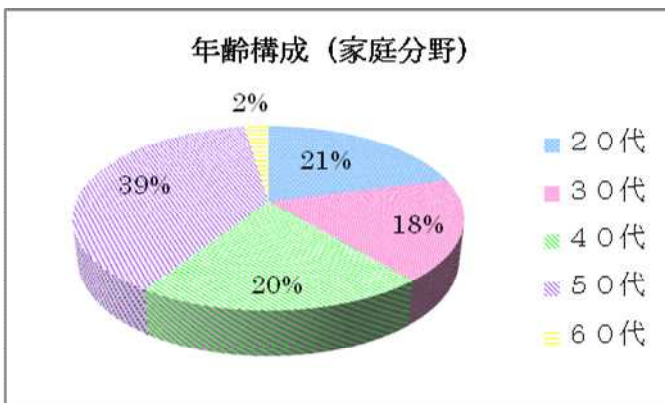
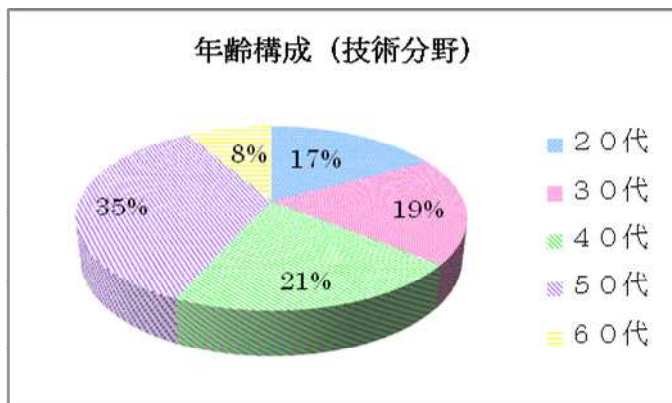
最後になりましたが、本会の活動に心温まる御指導をいただきました関係の皆様には感謝申し上げ、今後とも変わらぬ御支援、御協力をお願いし、今年度最終号の巻頭言といたします。

——千葉県中学校技術・家庭科教員現状調査より——

今年度、調査編集部で、県内の技術・家庭科教員の現状調査を実施しました。免許保有、勤務形態、年齢構成、教科経営上の問題点など、調査総数378校によるものでした。(一部抜粋したデータ)



どの分野も本務職員は6割程度で、講師や免許外担当が多く、安全面での指導等の課題が考えられる。



両分野とも50代以上が4割近くを占め、10年間で計画的に新規採用が望まれる。

——全国中学生創造ものづくり教育フェアより——

第18回全国中学生創造ものづくり教育フェアが1月20日(土)、21日(日)の両日、葛飾区立水元総合スポーツセンター体育館と女子栄養大学を会場として開催されました。アイデアバック部門でつくば科学万博記念財団理事長賞に伏信明香さん(千葉市立轟町中学校)、あなたのためのお弁当コンクール部門で文部科学大臣賞 宮川鶴怜さん、積田由美子さん、白石真悠さん(千葉市立葛城中学校)、木工の技の部門で原田澄大君(成田市立久住中学校)が全国大会本選に出場しました。その他、千葉県からも、作品展に優秀作品が出品され、素晴らしい成績を収めました。(敬称略)

全国市町村教育委員会 連合会会長賞	全国中学校産業教育 教材振興協会会長賞	全日本中学校技術・家庭科 研究会賞
		
一宮町立一宮中学校 酒井 万柚 (1年) 本立て	船橋市立坪井中学校 横山 純菜 (1年) ペンケース	千葉市立泉谷中学校 山田 隼 (1年) 眼鏡リモコン台
特許庁長官賞		厚生労働大臣賞
		
千葉市立小中台中学校 木戸村 珠記 (2年) 介護用の服といす		千葉市立轟町中学校 野出 塁斗 (1年) 巾着袋・パーカー ハーフパンツ・カップ

——編集後記——

今回は、飯塚会長の挨拶、調査編集部の県教員現状調査、全国中学生創造ものづくり教育フェアを掲載させて頂きました。次年度も、各支部の作品展や関東・甲信越大会や全国大会に関する記事を掲載していきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科部会 広報部 千葉市立白井中学校 北島 啓行》